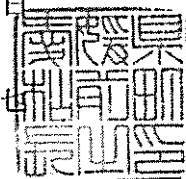


国土交通省道路局長 殿

松ま 第158号

平成19年5月7日

松前町長 白石 勝



中期的な計画の作成にあたっての意見について（ご回答）

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について
 - ア 渋滞対策（バイパスの整備・開かずの踏切り対策・交差点の改良など）
 - ク 大雨・地震などの災害、重大事故などへの備え（避難路の整備や橋の補強）など
 - コ 道路管理の充実（日常的な維持補修）

- ・ 効率化を徹底的にすすめる上で特に重視すべきことについて
 - エ 事業実施にあたって、早い段階から住民の考えや意見が充分反映されるような取り組みをもっと行う
 - オ 沿道の住民やNPO（特定非営利活動法人）などが道路管理にもっと参画できる取り組みを行う
 - キ 現在ある道路をもっと有効に利用する（高速道路料金の引き下げなど）

- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見について

広域都市圏域での道路整備等では域内での個別整備路線の性格等を踏まえ、嵩上げ補助の実施など従来の事業採択・補助制度などのありようを見直し早期整備にむけた検討をしてほしい。

例えば、松前町が進めている事業に町道筒井徳丸線道路改築事業があります。この道路は単に町道としての機能にとどまらず、南予地区と松山空港、松山観光港、アイテムえひめなどを結ぶ道路として広域的に重要であり、道路利用者から早期完成が望まれているが、町財政が厳しいなかでの事業実施となっているため更なる国の補助などの支援を期待したい。